

第93回平成30年度
全日本盲学校教育研究大会・みやぎ大会

第二次案内



「家族でラーメン！」（小学部児童作品）

期 日：平成30年7月26日（木）～7月27日（金）

会 場：宮城県仙台市（JR仙台駅前複合施設「AER」）

主管校事務局（宮城県立視覚支援学校内）

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉六丁目5-1

TEL 022-234-6333

FAX 022-234-7974

主管校事務局メールアドレス（全て半角英数）

zennichi-mou@miyagi-mogakko.myswan.ne.jp

1 開催要項

第93回平成30年度全日本盲学校教育研究大会・みやぎ大会開催要項

- 1 大会名 第93回平成30年度全日本盲学校教育研究大会・みやぎ大会
- 2 研究主題 「未来につなげる視覚障害教育」
～ 盲学校の専門性をすべての子どもたちへ ～
- 3 目的 時代の変化に対応しながら、盲学校において長年積み重ねてきた教育実践の成果を発信し、視覚障害の専門性の継承・発展につなげる研究・協議を行う。
- 4 主催 全日本盲学校教育研究会 全国盲学校長会
- 5 後援 文部科学省（予定）
宮城県教育委員会 仙台市教育委員会
東北地区盲学校長会 宮城県特別支援教育研究会
公益財団法人日本教育公務員弘済会宮城支部
- 6 主管校 宮城県立視覚支援学校
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉六丁目5番1号
TEL 022-234-6333
- 7 協力校 東北地区盲学校（視覚支援学校）
- 8 協力 東武トップツアーズ（みやぎ大会旅行代理店）
- 9 期日 平成30年7月26日（木）から7月27日（金）まで
1日目：平成30年7月26日（木）
開会式
全体会（講演）
研究協議（5分科会）
① 学習指導1 ② 学習指導2 ③ 生活 ④ 特別支援 ⑤ 理療
2日目：平成30年7月27日（金）
研究協議（5分科会）
① 学習指導1 ② 学習指導2 ③ 生活 ④ 特別支援 ⑤ 理療
閉会式
※ なお、大会前日の7月25日（水）には、以下の会議を開催
全日本盲学校教育研究会理事会・総会・第2回運営委員会
全国理療教育研究協議大会
全国盲学校普通教育連絡協議会 研究協議会・総会
- 10 全体会 演題 「全盲弁護士の夢のかなえ方」
講師 弁護士法人 つくし総合法律事務所東京事務所
弁護士 大胡田 誠 氏（おおごだ まこと）
- 11 会場 複合施設「AER」（以後、アエル）
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1
- 12 参加者 全日本盲学校教育研究会員及び視覚障害教育関係者等（約350名）
- 13 参加費 3,500円

3 会場

(1) 会場全体図

- 1) 仙台市中小企業活性化センター（アエル5F、6F） ・ 諸会議、開会式、全体会、分科会会場
- 2) エル・ソーラー仙台（アエル28F） ・ 諸会議、分科会会場
- 3) TKPガーデンシティ仙台（アエル21F） ・ 分科会会場

※1)～3)の会場は、同じ建物内にあり、エスカレーターもしくはエレベーターで移動。

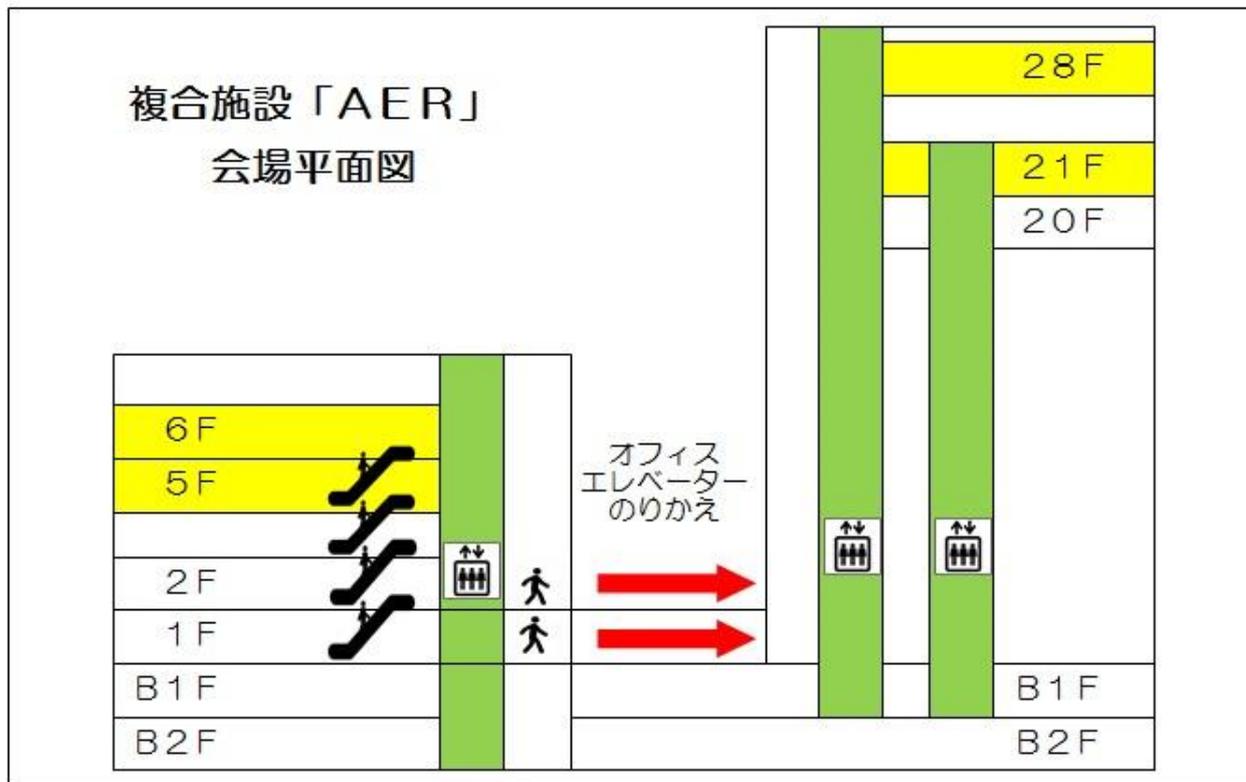


図 会場全体図

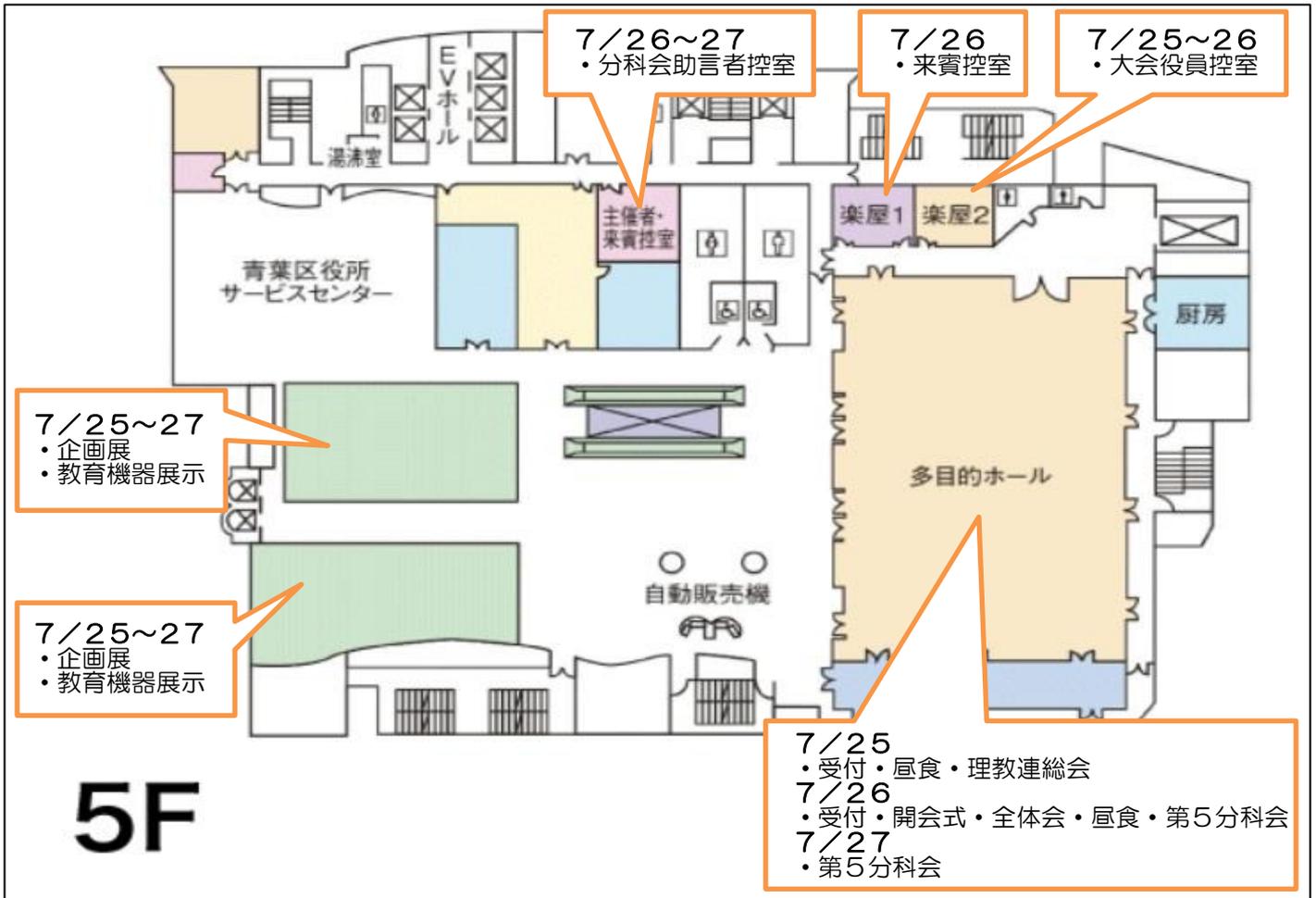
(2) アクセスマップ

- 1) JR東北新幹線 【仙台駅下車】 → 【仙台駅西口出口】 → 【徒歩2分】
- 2) JR在来線 【仙台駅下車】 → 【中央改札から名掛丁方面8番出口】 → 【徒歩2分】
- 3) 高速道路 【仙台宮城I.Cから広瀬通を東へ10分】

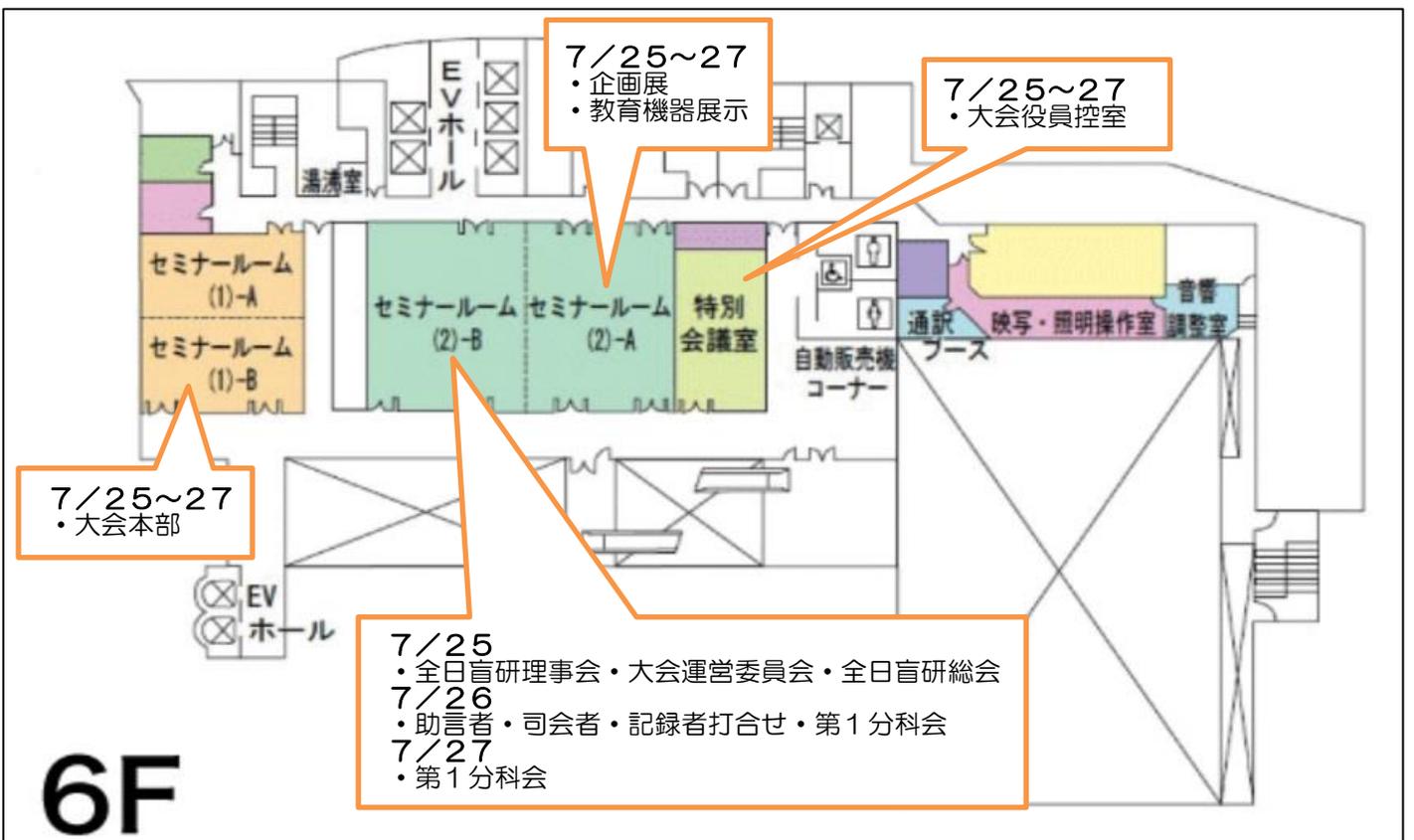


(3) 会場平面図

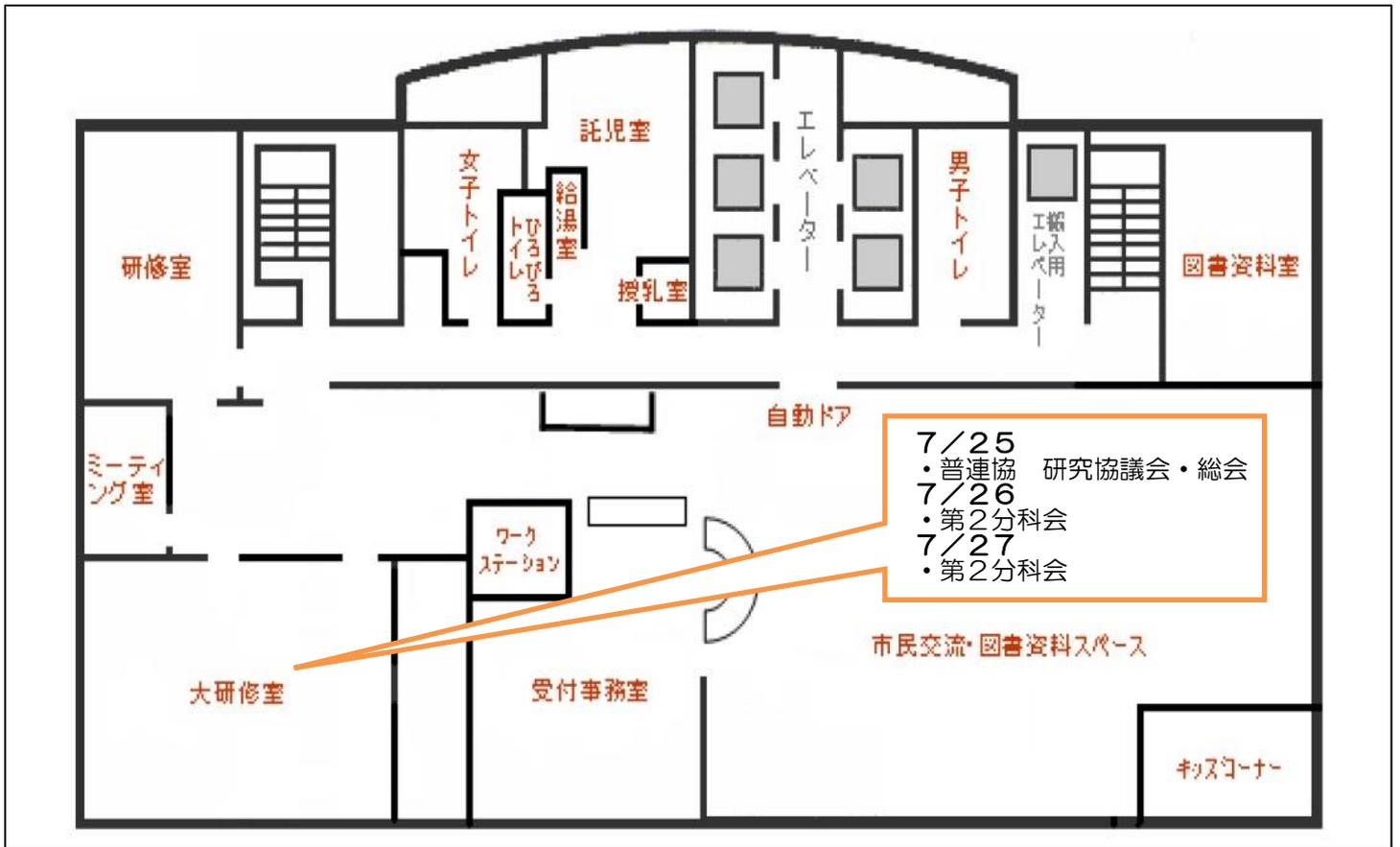
1) アエル5F フローアー図



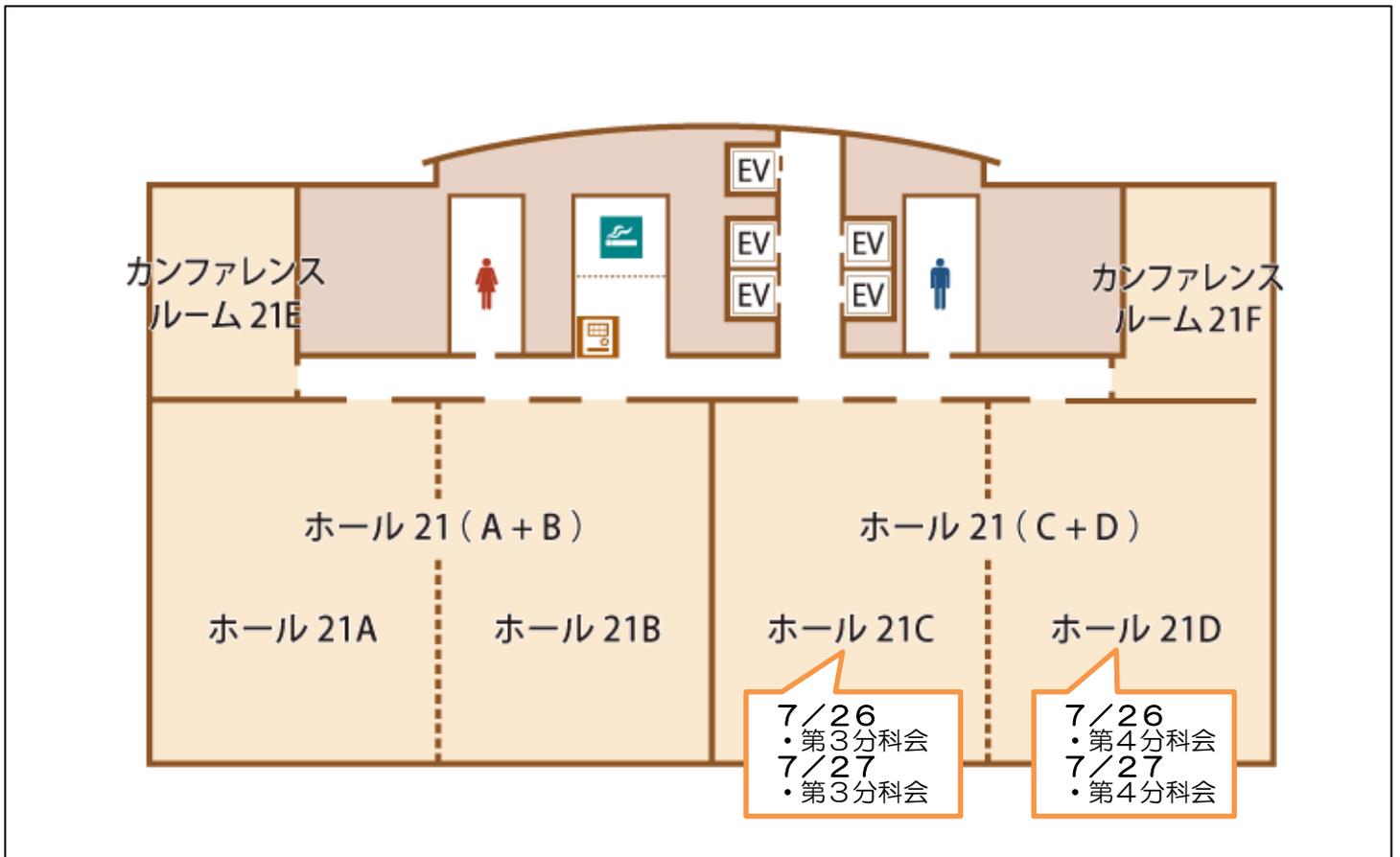
2) アエル6F フローアー図



3) アエル28F エル・ソーラー仙台 フロアー図



4) アエル21F TKPガーデンシティ仙台 フロアー図



4 運営委員会組織

(※=兼任)

番号	役職名	氏名	所属等	
1	大会会長 全日本盲学校教育研究会会長	神田 正美	愛知県立名古屋盲学校長	
2	大会副会長 全国盲学校長会会長	國松 利津子	東京都立八王子盲学校長	
3	大会運営委員長 主管校校長	菅井 理恵	宮城県立視覚支援学校長	
4	大会運営委員	全日本盲学校教育研究会副会長	山岸 直人	東京都立葛飾盲学校長
5		全日本盲学校教育研究会副会長	坂口 勝弘	和歌山県立和歌山盲学校長
6		全国盲学校長会副会長	民部田 誠※	岩手県立盛岡視覚支援学校長
7		全国盲学校長会副会長	桑山 一也	東京都立文京盲学校長
8		全日本盲学校教育研究会東北地区校長	島野 絵理子	青森県立盲学校長
9		全日本盲学校教育研究会東北地区校長	中谷 えり子	青森県立八戸盲学校長
10		全日本盲学校教育研究会東北地区校長	民部田 誠※	岩手県立盛岡視覚支援学校長
11		全日本盲学校教育研究会東北地区校長	鈴木 修一	秋田県立視覚支援学校長
12		全日本盲学校教育研究会東北地区校長	荒井 裕之	山形県立山形盲学校長
13		全日本盲学校教育研究会東北地区校長	須田 康仁	福島県立視覚支援学校長
14		平成31年度開催主管校校長	中江 祐	京都府立盲学校長
15		平成32年度開催主管校校長	大西 俊一	愛媛県立松山盲学校長
16		研究会事務局長	奥田 優	愛知県立名古屋盲学校 教頭
17		研究会事務局会計	吉田 茂雄	愛知県立名古屋盲学校 事務長
18		研究会事務局総務	福田 良江	愛知県立名古屋盲学校 部主事
19		研究会事務局総務	新井 隆祐	愛知県立名古屋盲学校 教諭
20		研究会事務局総務	細川 陽一	愛知県立名古屋盲学校 教諭
21		研究会事務局総務	犬飼 和夫	愛知県立名古屋盲学校 再任用教諭
22		大会運営委員 主管校事務局	主管校事務局長	及川 幸樹
23	主管校事務局会計		佐藤 由理子	宮城県立視覚支援学校 事務室長
24	主管校事務局総務		佐藤 進	宮城県立視覚支援学校 主幹教諭
25	主管校事務局総務		赤石 香苗	宮城県立視覚支援学校 主幹教諭

5 分科会討議の柱及び担当者一覧

全体助言者	文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別視支援教育視学官（併）特別支援教育調査官 青木 隆一 氏				
分科会名	討議の柱	助言者	司会者	各分科会記録者	各分科会担当者
第1分科会 (学習指導1)	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害の特性に応じた学習の基礎・基本を身につけるための指導 ・コミュニケーション能力や表現力を育てる指導 	元宮城教育大学 特別支援教育講座 教授 長尾 博（ながおひろし） 国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部上席総括研究員 澤田 真弓（さわだまゆみ）	青森県立盲学校 教諭 石山 信子 青森県立八戸盲学校 教諭 内村 昌彦	宮城県立 視覚支援学校 教諭 引田 夏実 教諭 桑原 寿美 養護教諭 千葉 理子	宮城県立 視覚支援学校 教諭 荒 政浩 教諭 星 玲子
第2分科会 (学習指導2)	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害の特性に応じた学習の基礎・基本を身につけるための指導 ・学ぶ意欲を引き出す指導や教材・教具の工夫 	筑波大学 人間系障害科学域 准教授 小林 秀之（こばやしひでゆき） 国立特別支援教育総合研究所 客員研究員 大内 進（おおうちすすむ）	岩手県立 盛岡視覚支援学校 指導教諭 下坪 喜美子 教諭 田村 巨	宮城県立 視覚支援学校 教諭 佐藤 優奈 教諭 佐藤 望 実習助手 太田博子	宮城県立 視覚支援学校 教諭 宇治 裕一 教諭 高橋 富美
第3分科会 (生活)	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と社会参加を目指した基礎的な生活力をつける指導 ・多様化した幼児児童生徒の社会参加に向けた支援のあり方 	宮城教育大学 特別支援教育講座 教授 菅井 裕行（すがいひろゆき） 帝京平成大学 現代ライフ学部 教授 田中 良広（たなかよしひろ）	秋田県立 視覚支援学校 教諭 小松 和紀 教諭 深川 亮	宮城県立 視覚支援学校 教諭 畑中 千昭 教諭 庄司 聖子 代替実習助手 渡邊美名	宮城県立 視覚支援学校 教諭 村上 泉 教諭 佐々木真恵子
第4分科会 (特別支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚特別支援学校（盲学校）における専門性の維持・向上 ・視覚障害教育におけるセンター的役割とネットワーク及び課題 	宮城教育大学 特別支援教育講座 准教授 永井 伸幸（ながいのぶゆき） 宮城県総合教育センター 特別支援教育班 次長 若山 洋（わかやまひろし）	山形県立 山形盲学校 教諭 中村 恒子 教諭 梅津 和敏	宮城県立 視覚支援学校 教諭 前原 久仁子 教諭 関矢 好佑 講師 高橋 美季	宮城県立 視覚支援学校 教諭 原子 健 教諭 遠藤真智子
第5分科会 (理療)	<ul style="list-style-type: none"> ・理療科および保健理療科における教材を活用した指導の工夫 ・生徒の実態に応じたあん摩基礎実習の指導～強揉みの指導、母指揉捏の指導、姿勢の指導、触察の指導など～ ・多様な生徒の自立的な学習を進めるための指導方法～高齢生徒や学習意欲の低い生徒など学習に困難を抱える生徒への指導～ ・自由 	日本理療科教員連盟会長 （東京都立文京盲学校） 主任教諭 栗原 勝美（くりはらかつみ） 元筑波大学 教授 宮本 俊和（みやもととしかず）	福島県立 視覚支援学校 教諭 水本 剛志 教諭 矢吹 淳	宮城県立 視覚支援学校 教諭 清水 邦利 教諭 横山 文武 講師 藤原 遥香	宮城県立 視覚支援学校 教諭 服部 恵 教諭 菅原 正弘

6 分科会発表者一覧表

分科会名	支部名	領域	学校名	職名	発表者名	テーマ
第1分科会 (学習指導1)	東北	図工・美術	青森県立八戸盲学校	教諭	たかはし ひでき 高橋 偉樹	毛筆と墨から感じる表現活動の取組
	関東甲信越	音楽	筑波大学附属 視覚特別支援学校	教諭	くまざわ さやこ 熊沢 彩子	楽譜指導の実践報告 ～中学部1年を中心に～
	中部	国語	静岡県立 静岡視覚特別支援学校	教諭	うんの ちかみ 海野 考美	言葉の知識理解を深める国語の授業 ～集団学習での学び合いを大切にしたい合同国語の実践～
	近畿	図書館	兵庫県立 視覚特別支援学校	実習助手	きぬがさ きくこ 衣笠 紀久子	ちょっと寄りたくなる学校図書館 ～多様な価値観を知り、主体的な表現へ～
	中国・四国	社会	愛媛県立松山盲学校	教諭	もりもと ゆうこ 森本 優子	地理を学ぶ楽しさを実感できる授業を目指して ～地図活用を中心とした取組～
	九州	重複障害教育	佐賀県立盲学校	指導教諭	みやた よしひろ 宮田 義弘	円滑な接続に焦点を当てた作業学習
第2分科会 (学習指導2)	北海道	理科	北海道帯広盲学校	教諭	まふね みちたか 間船 通孝	本校における盲・弱視生徒合同の理科学習の実際 ～それぞれの生徒の実態や取り組み方の違いに配慮した授業の取り組み～
	東北	算数・数学	山形県立山形盲学校	教諭	すすき さとし 鈴木 聡	扇形モデルを用いた盲の生徒への分数の指導 ～視覚障害(盲)の認知特性を踏まえた分数概念の形成～
	関東甲信越	理科	筑波大学附属 視覚特別支援学校	教諭	やまだ たけし 山田 毅	さわってわかるてこのつりあい
	中部	保健体育	愛知県立岡崎盲学校	教諭	しばた ひであき 柴田 英昭	小学部における体育の授業展開について
	近畿	自立活動	京都府立盲学校	教諭	つかもと ゆうすけ 塚本 裕亮	重複児童の歩行指導について ～空間認知と歩行能力の視点から～
	中国・四国	算数・数学	香川県立盲学校	教諭	よしだ みつる 吉田 満	アセスメントに基づいた算数の基礎・基本の定着を目指した指導
	九州	算数・数学	福岡県立 柳河特別支援学校	教諭	たけい ちひろ 武井 千紘	弱視児童A児の表現する力を育てるための算数科学習指導

分科会名	支部名	領域	学校名	職名	発表者名	テーマ
第3分科会 (生活)	北海道	寄宿舎指導	北海道札幌視覚支援学校	寄宿舎 指導員	たかしま あや 高島 綾	一貫した指導の共通理解と基本的な資料の作成
	東北	重複障害教育	福島県立視覚支援学校	教諭	さかわ たくみ 佐川 匠	主体的学びの実現を目指した重複教科会の取り組み ～教員による研修を通して～
	関東甲信越	寄宿舎指導	群馬県立盲学校	寄宿舎 指導員	とみざわ やすなり 富澤 恭成	体験を通じた余暇活動 ～やりたいことをみんなでやろう～
	中部	寄宿舎指導	石川県立盲学校	寄宿舎 指導員	かたおか ますみ 片岡 眞澄	コミュニケーション力の向上をめざした支援 ～自分の思いを適切に伝えるために～
	近畿	寄宿舎指導	和歌山県立和歌山盲学校	寄宿舎 指導員	なかもと ともや 中本 智也	つながる力、伝える力、認め合う力を育む小集団活動
	中国・四国	寄宿舎指導	広島県立 広島中央特別支援学校	主幹 寄宿舎 教諭	ばんき よしこ 伴木 義子	児童生徒が主体的に生活することができる指導方法の工夫改善
	九州	学校保健	宮崎県立 明星視覚支援学校	養護教諭	まつざき ふみこ 松崎 史子	健康課題の現状とその解決にむけて
第4分科会 (特別支援)	東北	教育相談	秋田県立視覚支援学校	教諭	ながさき ゆきこ 長崎 雪子	秋田県版スマートサイトについて ～視覚に障害がある方の総合的支援の窓口として～
	関東甲信越	特別支援	筑波大学附属 視覚特別支援学校	教諭	なかた ちずか 中田 ちずか	全盲の生徒の都立普通高等学校への進学
	中部	重複障害教育	富山県立 富山視覚総合支援学校	教諭	しまだ さおり 嶋田 沙織	重複障害幼児の「見る力」を高めるための取組 ～自ら外界に働きかける力を育てるために～
	近畿	特別支援	奈良県立盲学校	教諭	すすき ひでたか 鈴木 英隆	本校のセンター的役割について ～奈良県視覚障害教育研究会のこれまでとこれから～
	中国・四国	教育相談	徳島県立 徳島視覚支援学校	教諭	くらもと まゆこ 倉元 麻由子	本校が担うセンター的役割の取組と展望
	九州	特別支援	沖縄県立沖縄盲学校	教諭	うえち たかしげ 上地 孝重	体験に基づく確かな言語力を獲得する指導の工夫 ～作業学習における稲作体験を通して～

分科会名	支部名	領域	学校名	職名	発表者名	テーマ
第5分科会 (理療)	北海道	理療	北海道札幌視覚支援学校	教諭	とりば まさゆき 鳥羽 晶幸	あん摩実技における合同授業の取組 ～多様な生徒との関わりを通じて意欲の向上を図る～
	東北	理療	宮城県立視覚支援学校	教諭	かまた のぼる 鎌田 昇	知識の定着を促す教材活用の工夫について ～eラーニングを取り入れた教科指導の実践から～
	関東甲信越	理療	長野県松本盲学校	教諭	こうの たかのり 河野 隆則	揉捏の流れ、リズムを中心にした教材づくりと指導
		理療	横浜市立盲特別支援学校	教諭	よしき いさお 吉木 功	3Dプリンタの活用 ～NPO法人IGB・慶應義塾大学・本校が連携した教材開発～
	中部	理療	静岡県立 浜松視覚特別支援学校	教諭	いけだ ひろし 池田 宏	国家試験問題学習ツールの作成とその活用
	近畿	理療	滋賀県立盲学校	教諭	まえはら たけし 前原 健司	滋賀県立盲学校における臨床実習の取り組み ～継続外来を中心に～
	中国・四国	自立活動	高知県立盲学校	教諭	うえみつ ようこ 上光 陽子	個々のニーズを引き出す効果的な指導体制作り ～高等部理療科における自立活動の指導を通して～
	九州	理療	大分県立盲学校	教諭	すえなが たかみつ 末永 多香光	理療科の学習における中途視覚障がい者の支援について

7 大会参加申込方法

(1) 大会参加の申込について

大会参加申込の受付については、大会参加者、分科会発表者、司会者、研究会事務局、大会運営委員等、すべての参加申込は、東武トップツアーズ株式会社仙台支店を介して行っていただきます。インターネットにて大会専用ウェブページからお申し込みください。

(2) 申込の方法について

インターネットにて下記、大会専用ウェブページからのお申し込みとなります。

https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/zennichimou_miyagi/agree.aspx

宮城県立視覚支援学校のホームページ上にあるリンクボタンもしくは、上記ホームページアドレスを入力していただくと、申込みページを開くことができます。

参加申込は、学校単位でお願いいたします。教科単位、学部単位での申込等も避けていただきますようお願いいたします。個人での参加申込についてはお受けできない場合がありますので御注意ください。

申込についてのお問い合わせ等がありましたら東武トップツアーズ仙台支店まで御連絡ください。

申込開始日 平成30年 5月22日(火)

申込締切日 平成30年 6月22日(金)

お申込に関するお問い合わせ先

東武トップツアーズ(株)仙台支店(担当:植木・皆川)

TEL:022-263-3232 FAX:022-265-5765

E-mail:zennichimou@tobutoptours.co.jp

(3) 振込について

申込の入力が完了しますと、予約確認メールが到着後、予約明細書・請求書をWEB上からダウンロードして指定の口座までお振り込みください。

振込手数料は、参加者負担となりますので予めご了承ください。

振込締切日 平成30年 7月13日(金)

(4) その他

1) 申込み方法詳細について

詳しい申込み方法につきましては、別紙「第93回平成30年度全日本盲学校教育研究大会・みやぎ大会申込みについて」を参照してください。理教連、普連教への参加申込みは、各事務局へお願いします。

2) 大会参加費について

大会参加が1日のみの場合でも、参加費のお支払いをお願いします。なお、大会前日(7月25日)に実施する理教研大会や普連教総会のみに参加される方は、参加費は不要です。第5分科会の大会2日目のシンポジストの方も、学校単位での申込みをお願いします。また、大会参加費の3,500円のお支払いもお願いします。

3) 大会参加者受付について

参加者の受付は、大会前日の7月25日(水)9:20~16:00、大会1日目の7月26日(木)9:20~10:00まで行います。なお、25日に受付を済まされた方は、26日の受付は必要ありません。受付場所は、両日ともにアエル5階の多目的ホール前の予定です。

4) 参加者名簿について

大会では、分科会参加者に参加者名簿を配布します。名簿の取り扱いにはご留意いただきますようお願いいたします。

5) 駐車場について

会場には、限られた有料駐車場しかありません。大会会場へは、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

8 分科会発表に関するお願い（各分科会発表者の方々へ）

(1) 分科会発表について

1) 司会者・発表者打合せについて

分科会の発表者は、大会第1日目の7月26日（木）の分科会開始前の12時45分～13時に行いますので各分科会会場に御集合ください。

※ 7月26日（木）の9時10分～9時50分に予定されている「助言者・司会者・記録者打合せ」には、発表者の方は参加していただく必要はありません。

2) 発表時間について

発表時間は**20分**です。

時間内に終わりますようお願いいたします。発表終了5分前にベルを鳴らします。

3) 情報機器

情報機器（パソコン等）の操作につきましては、原則として発表者御自身でお願いします。

(2) 分科会参加者への配布資料（発表原稿及び当日配付補助資料）の提出について

以下のものを期日までに全日盲研みやぎ大会主管校事務局へお送りください。

提出物	送付先及び提出期限
(1) 分科会参加者への配付資料 墨字資料（参加者数＋予備30部） 点字資料（参加者数＋予備10部） ※参加者数は、申込み締切り後にお知らせします。	宮城県立視覚支援学校内 全日盲研主管校事務局宛 7月4日（水）必着
(2) 発表時に使用するプレゼンテーション用データ CD-ROM（PPTデータ等）を2枚（予備含） ※Microsoft PowerPoint2013と互換性のあるデータ形式でお願いします。	宮城県立視覚支援学校内 全日盲研主管校事務局宛 7月11日（水）必着

(3) 発表原稿について

各分科会の発表原稿は、墨字版と点字版両方をCD-ROMに収録し、6月下旬～7月上旬に各校へ**事前に送付**いたします。

(4) その他

点字原稿の校正は事務局ではいたしませんので、十分に確認して御提出いただきますようお願いいたします。御不明な点は、全日盲研みやぎ大会主管校事務局までお問い合わせください。